

研究実施のお知らせ

研究課題名：自動瞳孔記録計を用いた瞳孔所見による弓部大動脈置換術後せん妄の評価
研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年12月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2014年11月～2025年12月に当院で弓部大動脈置換術を受け自動瞳孔記録計で術中術後瞳孔所見をとった方

【研究の目的と意義】

胸部大動脈瘤に対する弓部大動脈置換術後には脳への体外循環の影響などからせん妄が発生しやすいと言われています。せん妄とは、突然発生して変動する精神機能の障害で、通常は回復可能です。注意力および思考力の低下、見当識障害、覚醒（意識）レベルの変動を特徴とします。しかし精神機能の障害であるため、麻酔薬を使っていたり、人工呼吸中で会話ができなかつたりすると診断が難しいことがあります。当院では心臓の手術を受ける方の脳の状態を知るため、手術の間と手術後に自動瞳孔記録計という瞳孔変化を内蔵ビデオカメラにより追跡して数値で解析表示する装置を使用しています。この自動瞳孔記録計から得られる項目のひとつが、集中治療室でのせん妄の時に低下することを報告している論文があります。そこで、当院でせん妄のリスクが高いと言われる弓部大動脈置換術を受けた方の自動瞳孔記録計の値とせん妄の発生に関係があったかを調査させていただきたいと思います。これにより弓部大動脈置換術後のせん妄の発生を早期に診断することができる可能性があります。

【研究の方法】

患者様の診療録等の診療情報を用いて、集計、単純な統計処理等を行う後ろ向き研究です。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（年齢、性別、身長、体重、経時的な意識や脳の状態、せん妄の診断の有無、脳の画像所見等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

研究責任者：仙台市立病院 麻酔科 医長 安達厚子

共同研究者：仙台市立病院 麻酔科 部長 安藤幸吉

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が学会発表・論文などで公表さ

れていた場合などは、完全に廃棄できません。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 麻酔科

研究責任者 安達厚子

麻酔科部長 安藤幸吉

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）